

令和3年度 安全振興会だより

Anzen shinkoukai dayori

発行者
 一般財団法人 福岡県学校安全振興会
 〒812-0044 福岡市博多区千代1-2-4
 福岡生活衛生食品会館3F

ごあいさつ

理事長 今富 英樹

皆様には平素より本会の事業に温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症は昨年末に一旦収束の気配を見せたものの、オミクロン株の感染拡大により再び「まん延防止等重点措置」が発令されるなど、一向に終息の気配を見せない状況が続いております。

また、自然災害に目を向けますと、小笠原諸島やトンガ諸島での大規模な海底火山の噴火、その他巨大竜巻や干ばつ、豪雨、豪雪など、かつて経験したことがないような事象の発生頻度が増えていると感じております。皆様には日頃から防災意識を強く持ち、命を守る行動を心がけていただきたいと思います。

さて、事故の減少を目的に実施しております「学校安全教育表彰事業」につきましては、令和3年度、西田川高校と玄界高校を表彰いたしました。西田川高校は、防犯協会連合会等の協力のもと「地域安全マップ」を作成し、防犯カメラ、防犯灯の設置や生徒の防犯意識向上に繋がる有意義な成果を上げました。また、玄界高校は、工夫を凝らした感染対策によるコロナ感染症の予防と、防災訓練が実施困難な中での有効な防災学習を実践し、生徒一人ひとりの感染症対策、防災意識の向上に繋がりました。両校の素晴らしい活動に敬意を表します。

本会は、大きな課題であります「事故の増加と生徒数減少による収支バランスの悪化」に対応するため、令和2年度から治療共済金の支給比率の引き下げを実施いたしましたが、事故件数の増加と重傷化傾向に歯止めがかからず、予想を上回る会員数の減少と相まって大幅な収支改善が見込めない状況となっております。皆様には引き続き事故の防止に留意していただきますようお願い申し上げます。

本会は今後も、学校管理下における生徒の災害に対する共済金給付事業を柱に、PTA 活動中における保護者等の災害に対する共済金給付事業、安全啓発活動等に対する助成事業などを積極的に推進いたしますとともに、適切な内部管理とコンプライアンスの維持に努め、生徒等の安全安心をサポートする有意義な団体となることを目指して事業を進めてまいります。皆様の温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年度の主な事業

1. 共済金給付事業

(1) 年度別推移

(単位：千円)

年度	件数	金額
平成28年度	1,355	29,257
平成29年度	1,492	36,926
平成30年度	1,375	34,567
令和元年度	1,415	62,286
令和2年度	1,001	31,433

(2) 令和3年度支給状況(令和4年1月末時点)(単位：千円)

種類	件数	金額
治療共済	809	16,907
障害共済	1	440
供花料	1	30
保護者入院・通院	0	0
計	811	17,377

(3) 今年度の傾向

● 治療費の増加(ケガの増加)

昨年同様、通常の学校生活が送れない状況が一部続いているので支給件数は減少していますが、ケガなどに対する治療費が増加(=ケガの重症化)しています。

2. 安全普及充実事業(健康用品配付)

● 黒球型携帯熱中症計

全加入139団体へ寄贈しました。

学校アンケートにおいて希望が多かったもので、近年の酷暑における運動やマスク生活の環境把握の一助として、学校規模に応じて計501台を寄贈しました。



3. 広報活動事業

● 振興会報 発行

9月1日、第24号約80,000部を加入会員に配付し、令和3年度予算事業計画・行事などを広報しました。

● 共済事業概要案内/安全振興会だより 発行

3月上旬、会員に配付し、事業報告・共済支給状況を広報しました。

● 新入生加入案内号 発行

3月上旬、新入生の保護者に対して本会の事業紹介を「加入案内号」として配付し、内容の周知に努めました。

令和4年度 行事予定

共済事務(事務長及び新任)担当者説明会	4月20日予定
安全振興会報 発行	9月1日
安全振興会だより・安全振興会加入のご案内 発行	3月1日
共済事業「概要案内」発行	3月1日
月例監査(共済支給業務監査)	毎月下旬
令和3年度 監事業務及び会計監査	5月12日
令和3年度 公認会計士監査	5月17日
全国高等学校等安全互助会連絡協議会	11月11・12日
役員(理事・監事)会	5/20・7/22・9/22・12/8・2/10(臨時含む)
評議員会	6/10・2/22(臨時含む)

令和3年度 安全振興会だより

Anzen shinkoukai dayori

発行者
 一般財団法人 福岡県学校安全振興会
 〒812-0044 福岡市博多区千代1-2-4
 福岡生活衛生食品会館3F

ごあいさつ

理事長 今富 英樹

皆様には平素より本会の事業に温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症は昨年末に一旦収束の気配を見せたものの、オミクロン株の感染拡大により再び「まん延防止等重点措置」が発令されるなど、一向に終息の気配を見せない状況が続いております。

また、自然災害に目を向けますと、小笠原諸島やトンガ諸島での大規模な海底火山の噴火、その他巨大竜巻や干ばつ、豪雨、豪雪など、かつて経験したことがないような事象の発生頻度が増えていると感じております。皆様には日頃から防災意識を強く持ち、命を守る行動を心がけていただきたいと思います。

さて、事故の減少を目的に実施しております「学校安全教育表彰事業」につきましては、令和3年度、西田川高校と玄界高校を表彰いたしました。西田川高校は、防犯協会連合会等の協力のもと「地域安全マップ」を作成し、防犯カメラ、防犯灯の設置や生徒の防犯意識向上に繋がる有意義な成果を上げました。また、玄界高校は、工夫を凝らした感染対策によるコロナ感染症の予防と、防災訓練が実施困難な中での有効な防災学習を実践し、生徒一人ひとりの感染症対策、防災意識の向上に繋がりました。両校の素晴らしい活動に敬意を表します。

本会は、大きな課題であります「事故の増加と生徒数減少による収支バランスの悪化」に対応するため、令和2年度から治療共済金の支給比率の引き下げを実施いたしましたが、事故件数の増加と重傷化傾向に歯止めがかからず、予想を上回る会員数の減少と相まって大幅な収支改善が見込めない状況となっております。皆様には引き続き事故の防止に留意していただきますようお願い申し上げます。

本会は今後も、学校管理下における生徒の災害に対する共済金給付事業を柱に、PTA 活動中における保護者等の災害に対する共済金給付事業、安全啓発活動等に対する助成事業などを積極的に推進いたしますとともに、適切な内部管理とコンプライアンスの維持に努め、生徒等の安全安心をサポートする有意義な団体となることを目指して事業を進めてまいります。皆様の温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年度の主な事業

1. 共済金給付事業

(1) 年度別推移

(単位：千円)

年度	件数	金額
平成28年度	1,355	29,257
平成29年度	1,492	36,926
平成30年度	1,375	34,567
令和元年度	1,415	62,286
令和2年度	1,001	31,433

(2) 令和3年度支給状況(令和4年1月末時点)(単位：千円)

種類	件数	金額
治療共済	809	16,907
障害共済	1	440
供花料	1	30
保護者入院・通院	0	0
計	811	17,377

(3) 今年度の傾向

● 治療費の増加(ケガの増加)

昨年同様、通常の学校生活が送れない状況が一部続いているので支給件数は減少していますが、ケガなどに対する治療費が増加(=ケガの重症化)しています。

2. 安全普及充実事業(健康用品配付)

● 黒球型携帯熱中症計

全加入139団体へ寄贈しました。

学校アンケートにおいて希望が多かったもので、近年の酷暑における運動やマスク生活の環境把握の一助として、学校規模に応じて計501台を寄贈しました。



3. 広報活動事業

● 振興会報 発行

9月1日、第24号約80,000部を加入会員に配付し、令和3年度予算事業計画・行事などを広報しました。

● 共済事業概要案内/安全振興会だより 発行

3月上旬、会員に配付し、事業報告・共済支給状況を広報しました。

● 新入生加入案内号 発行

3月上旬、新入生の保護者に対して本会の事業紹介を「加入案内号」として配付し、内容の周知に努めました。

令和4年度 行事予定

共済事務(事務長及び新任)担当者説明会	4月20日予定
安全振興会報 発行	9月1日
安全振興会だより・安全振興会加入のご案内 発行	3月1日
共済事業「概要案内」発行	3月1日
月例監査(共済支給業務監査)	毎月下旬
令和3年度 監事業務及び会計監査	5月12日
令和3年度 公認会計士監査	5月17日
全国高等学校等安全互助会連絡協議会	11月11・12日
役員(理事・監事)会	5/20・7/22・9/22・12/8・2/10(臨時含む)
評議員会	6/10・2/22(臨時含む)